

### ダマスク・モダンの香り

ダマスク・クラシックの香りより、さらに情熱的で洗練された香りです。



パパメイアン

### ダマスクの香り&ティーの香り

さまざまな花の香りの中でも、ばらの香りはほかの花の香りには比べることはありません。540を超えるといわれる香気成分が複雑に組み合わせられています。現代ばらは、ヨーロッパのばらと東洋のばらの原種と交雑種、そして長い年月の間の人工交配の積み重ねにより、花色・花形・樹の性質などさまざまなばらが生まれています。一季咲きの西洋のばらに四季咲き性の性質をもたらしたのが中国のばらであることはよく知られます。香りについても同様で、香料につかわれるようなヨーロッパのばらのダマスク系の香りに、中国のばらのティー系の香りが加わり、多彩な香りになりました。香りの内容で大きく7分類されています。

### アニス(ミルラ)の香り

ハーブのスイートシスリー(ミルラ、オドラータ)様の香り。やや青くさを強めた香りですが、ダマスク系やティー系の香りによく調和します。イングリッシュローズに多くあります。



アンブリッジローズ



デンティベス

### スパイシーの香り

ダマスク・クラシックの香りをベースに、スパイスとして使われるクローブ(丁子)様の香りがやや強く感じられます。ノイバラや一重の品種の多くはこの香りです。

### 香りのばら園の誕生

(株)北陸製作所(長岡市)所有のばら園が2001年(平成13年)6月に閉園したことに伴い、存続を望む多くの長岡市民の要望を受けた国営越後丘陵公園がこのばらの寄贈を受け、2003年(平成15年)5月24日に“香りのばら園”が開園しました。

### 国際香りのばら新品種コンクール



フレグラントヒル  
(第1回国土交通大臣賞)

世界中でも珍しい香りに特化した新品種コンクール。交配が重ねられる中で失われつつあったばらの「香り」の魅力あらためて評価し、香りのばら園に一層磨きをかけるため2005年(平成17年)から行っています。入賞したばらで特に優れたものは、引き続き本公園で栽培されています。

### 香りのばらまつり

四季咲き性のばらのせん定時期を調整しながら、年2回、春と秋の開花期に合わせて「香りのばらまつり」を開催しています。講演会やガイドツアー、ワークショップなど、さまざまなイベントを開催します。



ばらの開花時期  
春 5月末→6月下旬  
秋 10月初旬→11月初旬

※開花時期は気候により変化します。開花情報はホームページまたはお電話にてご確認ください。

### お問い合わせ先

### 国営越後丘陵公園 越後公園管理センター

〒940-2082  
新潟県長岡市宮本東方町  
字三ツ又 1950-1  
TEL (0258) 47-8001  
FAX (0258) 47-8002  
URL <https://echigo-park.jp/>



R3.03.10.000



約800品種 2,400株

## 香りのばら園

ガイドマップ



©Hideharu Imai

ECHIGO HILLSIDE PARK  
越後丘陵公園  
ROSE GARDEN  
ECHIGO HILLSIDE PARK



ほしじゅん  
芳純

### ダマスク・クラシックの香り

ヨーロッパ原産のばら(ガリカ、ダマセナなど)の強い甘さと華やかさをあわせもっています。

## 国営越後丘陵公園 香りのばら園で まず“標準”をつくらう

### ～ばらの香りの7分類

ばらの香りは、香気成分の科学分析に官能評価(嗅いで感じた香り)を加えて、香りのタイプが大きく7分類されています。香りのばら園にはこれら同じ香りを整理したエリアやコーナーがあります。実際に嗅いで、その香りを“標準”として、さまざまなばらの香りを言葉にしてみましょう。香りの7分類の代表的品種をご紹介します。



レディ  
ヒルズン

### ティーの香り

中国原産のばらの香り成分が特徴。グリーン・バイオレットの香りを基調とする上品で優雅な印象の香り。香り立ち中は中くらい。



ブルー  
ムーン

### フルーティーの香り

ピーチ、アプリコット、アップル様などフレッシュな果実の香りを思い起こさせる香りです。



ダブル  
デイライト

### ブルーの香り

ダマスク・クラシックの香りにティーの香りが混じる奥深い香り。ブルー系の品種に多くあります。

1つ1つのバラが香り、  
バラ園全体が香る

# 香りの バラ園

国営越後丘陵公園のバラ園は、華やかな色や形の美しさはもちろん、私たちの心を酔わせる「香り」にこだわった庭園です。

モダンローズを主体とした『香りのエリア』『色彩のエリア』『殿堂入りしたバラのエリア』、日本の野生種を扱った『日本の野生のバラのエリア』、古代バラが系統立ててご覧いただける『原種・オールドローズのエリア』、古典的なスタイルのモダンローズを配した『ばらと草花のエリア』、そして『国際香りのばら新品種コンクール試作場』と7つのエリアで構成されています。

ばらのさまざまな魅力を楽しみながら、どうぞごゆっくりとお過ごしください。

## ばらの香りの嗅ぎ方のマナー

- 茎を持って香りを嗅ぎましょう。手においがつくので、花びらには手を触れないように。
- くんくん嗅がず、すーっと香りを吸い込みます。
- 息は横に逃がします。花にかかると息の香りがつかめます。
- 3回まで繰り返し、言葉で「〇〇」の香りと表現します。3回以上嗅ぐと鼻が慣れて分からなくなります。

## 色彩のエリア

越後の「雪」や白色にちなんだ名前を持つ白いばらや、橙・黄・赤・桃の花色のグラデーションが楽しめます。



## 日本の野生ばらのエリア

地球上に100～200種あるといわれる野生ばらのうち、日本に自生するものを植栽しています。

## 香りのエリア

“ばらの魅力を香り”をテーマに、四季咲き性のモダンローズから芳醇な香りを持つ品種を選び、6種類の香りのタイプ別に植栽しています。なお、アニス(ミルラ)の香りは、ばらと草花のエリアに植栽しています。



## 国際香りのばら新品種コンクール試作場

2005年から本公園で開催しているコンクールで、審査中の新品種をここで試作しています。

コンクールで  
入賞したばら

香りの  
基準品種

## 殿堂入りした ばらのエリア

世界40カ国のばら会が参加する「世界ばら会連合」が3年に1回開催する「世界ばら会議」で選ばれた“殿堂入りしたばら”を植栽した芝生の広場です。

## ばらと草花のエリア

宿根草類と、それに調和するばらを組み合わせ、「香り」をはじめとする四季折々の楽しみにあふれた花の庭です。雪国越後の環境によくなじむ植物が植えられ、庭づくりに活かせるアイデアと出会うことができます。また、このエリアのばらは、四季咲き性のモダンローズと、優しげな印象や繊細な味わいを持つオールドローズの性質を組み合わせた「古典的なスタイルのモダンローズ」です。



春一季咲きのランブラーローズを中心にガーランド(花綱)仕立てにしました。

